

VOCALOID 人気楽曲におけるメロディーの特徴

佐々木 あすか

本研究の目的は、VOCALOID の楽器としての魅力を最大限に引き出し、かつ人気を得やすい VOCALOID 楽曲の特徴を解明することである。近年 VOCALOID という音声合成技術が注目を集めており、この技術は、サンプリングされた人の声を基に音声を合成する技術である。歌詞と音程、そして音の長さを入力するだけで、一般の人でも自身のパソコンを使って気軽に音声を合成し、ヴォーカリストを作れる。しかし、VOCALOID という新しい楽器とも言えるツールが開発されたが、どのような楽曲が VOCALOID に適しているのかという研究はなされていない。本研究では、VOCALOID を用いたどのような楽曲が人々に受け入れられているのかを分析することで、VOCALOID の演奏に適する楽曲のいくつかの特徴を明らかにした。

VOCALOID が人気を集めている要因の 1 つは、どんな歌でも歌える、すなわち、人間が歌にくい曲を歌えることだと推測できる。VOCALOID 楽曲は、人間が歌うために作られた従来の楽曲とは異なり、音域やテンポなど、すべての要素に制限がない。よって、人間が歌いやすいように作られた従来の楽曲と VOCALOID 楽曲の間には音楽的な差異があると考えられる。人間が歌にくい楽曲の特徴としては、音域が広い、音の跳躍幅が広い、テンポが速い、早口、リズムが複雑、等が挙げられる。そのような歌にくい特徴を避ける必要がないのが VOCALOID の特徴であり、強みでもある。従って、人間が歌いにくいとされている楽曲の特徴が、VOCALOID に適している楽曲の特徴だと推測できる。そして、この「非人間的」な特徴が、VOCALOID 楽曲の人気理由だと考えられ、特に VOCALOID 楽曲の人気曲に顕著に現れる。

この仮説を検証するために、既存の VOCALOID の人気楽曲について、VOCALOID で演奏されている部分、つまりメロディーの特徴を分析した。具体的な手法としては、週刊 VOCALOID ランキングをもとに 2007～2011 年の年間 VOCALOID 楽曲のランキングを作成し、その上位と下位 5 曲ずつを対象に、音価、音程、音域、テンポを分析した。

以下の結果が得られた。(1) 上位曲の方が下位曲より早口である。(2) 音価移行の中で頻出頻度が最多である、8 分音符から 8 分音符へ移行するパターンが、上位曲は 2008 年以降右肩上がりに上昇しているが、下位曲には特徴は見られない。これにより、単調なリズムが好まれる可能性がある。(3) 上位曲の方が下位曲よりテンポが速い。(4) 音域が広い。

以上より、VOCALOID 楽曲の魅力を最大限に引き出し、かつ人気を得やすい特徴は、音域が広い、テンポが速い、早口、である。また、リズムについては、8 分音符を中心に単調なリズムを形成していることがわかった。これらが VOCALOID 曲の人気の要因だと考えられ、人気曲でより顕著に現れる特徴である。

(指導教員 真栄城 哲也)